

市民研究員養成講座 令和元年度の取り組み

両角徹生*

1 はじめに

令和元年度の市民研究員活動は、第3期1年目活動が始まった年である。この市民研究員養成講座は、若宮前館長さんが、博物館に地域住民の皆さんがより有機的に関わってくださり、地域住民の皆さんと博物館が手を取り合って共に成長していける博物館を作りたいとの願いより始まった活動である。今年度もこの願いの元、活発な活動が行われた。

第3期活動は7グループで活動が開始した。すなわち「植物・キノコ・シダ・天文・実験工作・語り伝承、そしてコケ」の7グループである。第3期活動開始と共に始まったのが「コケグループ」である。平岡環境科学研究所の平岡照代先生を指導者としてお招きし、活動が活発に行われている。

日本各地に博物館はあるけれど、市民研究員が主体となって、市民研究員の手で詳しく調査したり、研究したりして、その研究成果を博物館財産として保管していく。このような博物館はまだ少ない。市民研究員の皆さんと共に作り上げていく「市民研究員活動」を今後も一層発展させていき「市民研究員活動って楽しい!」「私も市民研究員になりたいな!」という声を広げたい。

2 各グループの活動

今年度の各グループの活動詳細については、各グループ活動報告でお願いすることとする。

ここでは、活動の概略を記しておきたい。

<植物グループ>

博物館や諏訪大社上社周辺には、どんな植物が生育しているのかを調査、観察、採集し、種名を同定し標本とリスト作りを行った。初夏に行った八ヶ岳西岳植物観察会は一般市民にも参加を呼びかけ盛会であった。また、秋には大町山岳博物館に出かけ学びを深めた。

<キノコグループ>

諏訪地域にはどのようなキノコが生育しているのかを調査、観察、採集し、種名を同定、標本とリスト作りを行った。一般市民に向けて、初春に「キノコの基本ABC」講演会などを開いた。秋には、御嶽山日和田高原に合宿に出向き学びを深めた。

<シダグループ>

現在どんなシダがどんな場所に生育しているのかを調査、観察、採集し、種名を同定し、標本とリスト作りを行った。活動を通して、シダ学習を深め、身の回りの30種程度を同定できるように学びを深めている。

<コケグループ>

現在どんなコケ（蘚苔類）がどんな所に生育しているのかを調査、観察、採集し、種名を同定し標本リストを作っている。今年度は、青少年自然の森を中心に調査・研究を深めた。

<天文グループ>

学習会では天体や宇宙についての学習を深めた。また、一般市民に向けて天体望遠鏡を使った天体観望会等も開いた。モバイルプラネタリウムを使った番組制作、そして投影解説をサイエンスフェスタやエコフェスタ等で公開し好評を得た。

<実験工作グループ>

科学工作の素材を検討して子ども達が理解しやすいように教材化をした。その教材を用い「子ども科学工作クラブ」や「ワクワク科学工作クラブ」等で子ども達の心に科学の不思議が深まるような指導した。さらに、子ども達の取り組みを元に教材精度を高める活動も行っている。

<語り伝承グループ>

そのままにしていると失われてしまう昔の記憶を記録に残す活動を精力的に行った。今年度は諏訪地方の8人の古老からお話を聞くことができた。聞き取った内容を「諏訪地方の語り伝承～第1集～」にまとめ、多くの人に知ってもらおう活動を行うことができた。

3 おわりに

市民研究員活動も第3期目の活動となり、第1期から研究を積み重ねている研究員の皆さんは、相当な力を付けていられる。

今後も、調査研究を深めると共に、研究で得られた学びの喜びや面白さを、まだ体感していない地域住民の皆さんに広めることと、本館の常設展示がより魅力的な展示になる為の提案と実践をお願いしたい。

*茅野市八ヶ岳総合博物館 館長